

このシリーズの特徴

- ①幼児が初めて持つ楽器として最適な打楽器と「かけ声」が主役の合奏。「ヤー!」「イエイ!」など元気いっぱいの声が合奏を盛り立てます。
- ②ピアノの楽譜は、初級者用と中級者用の2種類を用意しました。
- ③“先生が”楽譜が苦手でも、ピアノが弾けなくても大丈夫。練習はもちろん、本番にもお使い頂ける充実したCDが付いています。

楽譜について

- 子どもたちが打楽器のリズムを覚える手がかりとして、歌詞を付けてあります。(ピアノの演奏しやすい調を選んでいるため、歌うことは想定していません)
- 初級者用のピアノは、両手とも単音の簡単なアレンジ。右手の楽譜を鍵盤ハーモニカなどのメロディ楽器で、左手の楽譜をバスマスターやキーボードで演奏することも可能です。
- 中級者用のピアノは、多少複雑なリズムや和音を取り入れています。初級者用のピアノをメロディ楽器やバスマスターなどで演奏し、中級者用ピアノと組み合わせることで、より充実した合奏になります。
- パート譜は、主に先生の指導用として付けてあります。
- 打楽器は、便宜的に4つのグループに分けてありますが、お持ちの楽器を自由に組み合わせてお使いください。音が出る物であれば何でも打楽器です!
- 「グループ3」は比較的大まかなリズムなので、低年齢児でも参加しやすいパートです(その場合は、音の伸びる楽器にこだわる必要はありません)。

練習の仕方、及び付属CDの使い方

- まず全員合奏の音源（付属CD・トラック①）を聴いてみましょう。
- 次にグループ別（付属CD・トラック⑤～⑫）の音源を参考にして、それぞれの打楽器の練習をします。
- そして先生のピアノや、歌詞などに合わせて全員で合奏をしてみます。
ピアノを弾かない時には、打楽器なしの音源（付属CD・トラック②～④）に合わせて練習。そのまま本番にも使えます。

CD収録内容

- ① 全体合奏
中級者用ピアノとグループ1～4の打楽器に、メロディー楽器（鍵盤ハーモニカや木琴・鉄琴など）とバスマスターを加えた演奏です。
- ② 合奏（①からグループ1～4の打楽器を省いた音源）
- ③ 初級者用ピアノ
- ④ 中級者用ピアノ
- ⑤ グループ1（小太鼓）+初級者用ピアノ
- ⑥ グループ1（小太鼓）+中級者用ピアノ
- ⑦ グループ2（カスタネット）+初級者用ピアノ
- ⑧ グループ2（カスタネット）+中級者用ピアノ
- ⑨ グループ3（大太鼓）+初級者用ピアノ
- ⑩ グループ3（大太鼓）+中級者用ピアノ
- ⑪ グループ4（ウッドブロック）+初級者用ピアノ
- ⑫ グループ4（ウッドブロック）+中級者用ピアノ

マツケンサンバII

松平健

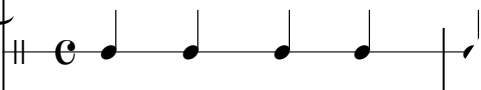
♩=120

中級者用ピアノと一緒に演奏する場合は休んでもよい

ピアノ
(初級者用)



グループ 1
(小太鼓等)



グループ 2
(カステネット等)



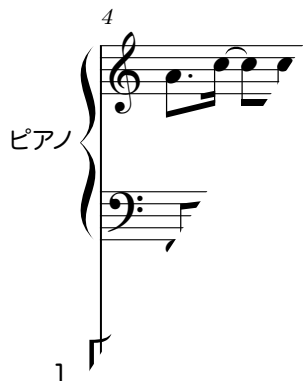
グループ 3
(大太鼓等)



グループ 4
(ウッドブロック等)



ピアノ



バ おどれ みなみの一カルナ



マツケンサンバII

松平健

ピアノ (初級者用)

♩=120

中級者用ピアノと一緒に演奏する場合は休んでもよい

5 (A)

ボン ゴ ひびけ サ:

バル だれも

9

かオ

まがーはーじけと ぶ

に からだ あずーけ ところ ゆくまでおーどれーば

マツケンサンバII

松平健

ピアノ (中級者用)

♩=120

4

8

12

A

マツケンサンバII

松平健

グループ I
(小太鼓 など)

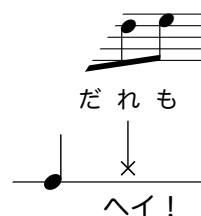
♩=120



5 (A)

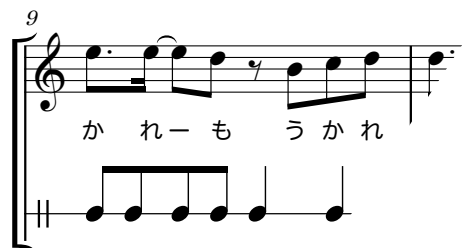


ボンゴ ひびけ サンバ

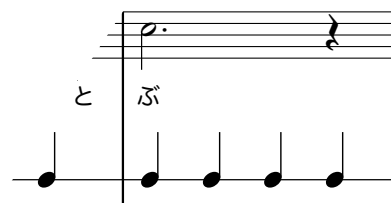


だれも
ヘイ!

9

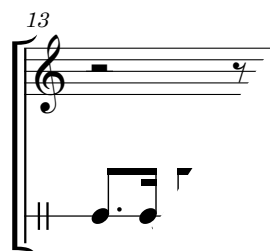


かれーも うかれ



とぶ

13



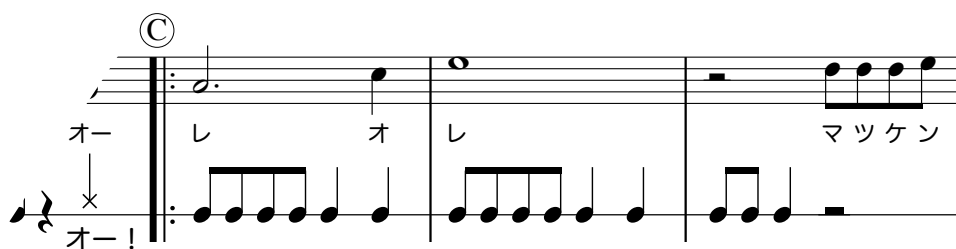
こころ ゆくまでおどれーば

17



のサンバをむねにあふれーるこのリズム

(C)



オーレ オレ
マツケン